



かわらないもの、かわって動くこと。

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

2021-2022年度
R1テーマ



2021-2022年度 R1テーマ

会長:江崎 晴城 副会長:鈴木 邦昭 幹事:山田 賀昭・平野 純也 副幹事:村松 繁・菅原 慎司

第2379回 **通常例会 / 小杉苑**

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために

■ 会長報告

江崎 晴城君

藤枝ロータリークラブに37年間在籍し、今年2月にご逝去されました。渡辺篤司さんの自宅にお邪魔しました。



仏壇に手を合わせ50周年式典が無事終了したことをご報告しました。

仏壇に向かう途中の部屋に、柔道の創始者嘉納治五郎による「自他共栄」としたためられた書がかけられていました。

柔道の総本山、講道館にも同様の「自他共栄」の書がかかっていると聞いたことがあります。柔道愛好家のプーチン大統領は、2000年に講道館を訪れ、山下泰弘さんから名誉六段の帯を送られた際「帰国して研鑽する」と断わり、そのかわりに嘉納治五郎直筆の書を受け取ったと言います。当時政府は柔道を通じて北方領土交渉を有利にしようとしてプーチン外交を行なってきました。世界はいま「自他共栄」の対極にあるような、独裁者が主導するおぞましい侵略行為の渦中にあります。

プーチンは自己研鑽どころか譲られた書はいったい何処に行ってしまったのでしょうか。

嘉納の理念を大切にしていだだろう渡辺さんが生きていたら、プーチンのことをなんと語ったのでしょうか。

さて、本日は次年度地区研修協議会の報告例会になります。鈴木邦昭次期会長のグラフ計画も着々と進み、村松さん、土屋さんが地区出向ともなります。新たな地区の方針を確認いただきたいと思います。本日もよろしくお祈りします。

■ 幹事報告

平野 純也君

- ・ガバナー事務所より地区大会での記念品についてのお知らせが届きました。
- ・子どもの居場所ひかりのいえさんより御礼のお手紙が届きました。

■ 出席報告

土屋 富士子君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
40 / 42 95.23%	39 / 42 92.85%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
大杉君 望月君

■ ゲスト

リ・ミンギョクさん (米山奨学生)

■ スマイルBOX

土屋 富士子君

- ・クラブより、検査キッドの購入しました。ニコニコでいただきました。竹田勲君

スマイル累計額 94,000円

■ 地区研修協議会報告

会長エレクト
鈴木 邦昭君



日曜日午後に開催されました地区研修・協議会に第 2620 地区より 800 名参加で ZOOM にて開催されました。当クラブからもお忙しい中 8 名の方に参加をしていただきありがとうございました。またこの後それぞれの分科会でのご報告よろしくお願いたします。

まず本会議では 2022~23 年度 RI ジェニファー・ジョーンズ会長のテーマ講演と浅原ガバナーエレクトの方針説明があり内容は PETS と同じものになりますので、重複いたしますがかいつまんでご紹介いたします。

RI テーマ「イマジン・ロータリー」と聞いてビートルズの名曲「イマジン」を想像する方も多と思います。

ベトナム戦争中に生まれた曲で、人類の平和を願った歌ですが、ロシア・ウクライナ戦争が現実になっている今、かなしいかな「イマジン」の願いは届かないでいます。

でも、「きっといつかは」と永遠に問いかけるテーマでもあり改めて平和を想う気持ちが曲と共に強くなります。

そして作曲された 1971 年は今から 51 年前になります。今年 7 月から藤枝クラブも 51 年目で偶然にも年が同じになりますので何か縁を感じるところですし、50 年の節目を迎えて次の 60 年、100 年先に向けて行動するにもそれぞれが「イマジン」することはとても重要だと感じます。また一人ひとりが同じ時間をあたえられていることについて考えるよう呼びかけられています。一日 1440 分一年で 52 万 5600 分。大切なのはその時間をどう生きることを選択するか、どう使うかを問いかけています。ポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢をロータリアンとして行動し皆さんとかなえるべく責任をもって行動していきましょう。

女性初の RI 会長ですので女性会員を増やすことを具体的に数字で示されています。

女性会員の割合は世界規模では 24%で目標を

30%としています。日本国内では現在 7%の割合ですのでだいぶハードルは高いです。

第 4 グループを見ても女性会員 0 のクラブが 3 クラブありますが、当クラブは現在 3 名の会員がおりますので今後も増強していければと思います。

次に分科会のご報告をいたします。

土屋幹事予定者と「公共イメージ向上委員会」に参加をいたしました。

イメージはなぜ大切なのかということですが、ロータリアンの充実と意識の向上が挙げられていました。イメージ「ブランド力」を高めることにより社会からの求心力・善意からロータリーの基盤を広めていき、一人一人の力は弱くてもクラブがまとまって大きな力に変えていく。また、ロータリアン一人一人が強力な広報マン「ブランド推進者」として自覚をもって行動するよう求められました。

比較されることがあるライオンズクラブの認知度は 7 割でロータリーはそれより低く 6 割ほどだそうです。ライオンズは We Serve クラブ全体で奉仕するのに対して、ロータリーは I Serve 個々の責任において奉仕するのが基本とされていますのでその違いが認知度に表れているようです。

ケンタッキー・フライド・チキンで有名な店舗前のカーネルサンダースの白いスーツ姿の人形ですが、ご存じの方も多と思いますが、ロータリーバッジがついています。自分は初めて聞いたことでしたので、そんなところからでもロータリーの認知を高める一つの話題にもなりますので機会があれば切り口の一つにしたいと思います。

ロゴの使い方についてのお話もありロゴブランドはフランチャイズと同じで、勝手に引用しない、色を変えてはいけない、歯車を透かししたり等加工をしてはいけないなどの注意がありました。正式にマイロータリーからロゴテンプレートにはいつていただきそれを使うようご案内がありました。過去に親睦リーダーをさせていただいた時にはグラスや写真立てにインターネットからロゴをコピーして使用したことがありましたので少し閥の悪い話として聞いていました。10/24 ですがエンドポリオの活動を日本のみならず世界規模で行っているの次年度でも募金活動等ロータリーの PR を兼ねてアクションを起こしてほしいと要望もありました。

公共イメージ委員会は藤枝南クラブより委員長

さんが輩出されていますので、卓話もお願いしていこうと思っていますのでまたその節に詳しいお話をいただきたいと思います。

次年度 幹事

土屋 富士子君



・Inclusion (インクルージョン) :
ロータリーはあらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます
このDEIの取り組みが会員増強につながると知ることができました。
次年度は増強委員会委員長として分科会で学んだことを生かしながら取り組んでいきたいと思っています。
よろしくお願いいたします。



次年度
米山奨学会担当
菅原 慎司君



次年度
ロータリー財団
委員長
松葉 隆夫君

次年度
会員増強維持
委員長
増田 貴行君



ロータリー財団への寄付と補助金の活用

- ・年次基金寄付 US\$150/人・年 (3年後の奉仕活動のために)
- ・ベネファクター 各クラブ1名以上
- ・ポリオプラス基金への寄付 US\$30/人・年
- ・ロータリーカード (個人・法人・クラブ) 加入促進
- ・全てのクラブが、地区補助金を活用して地域に貢献
- ・グローバル補助金を活用して国際貢献

4月24日に開催されました地区研修・協議会の会員増強・維持委員会の分科会に出席しましたのでご報告させていただきます。

分科会の初めにガバナーより維持が重要であり維持するためには積極的な参加が重要であり、維持のうえで増強に取り組むことが大切である。そして、維持するうえで重要なことが会員の満足度である。会員増強にはRIの2022-2023年度主要優先事項DEIの理解と取り組みが必要である。とのお話しはありました。

主要優先事項DEIの説明をさせていただきます。

・Diversity (多様性) :ロータリーはあらゆる背景をもつ人や幅広い文化経験アイデンティティの人をかんげいします

・Equity (公平さ) :ロータリーは、クラブ会員の公平な扱いと機械の均等を保つよう努めています

次年度
奉仕委員長
北島 毅君



次年度、奉仕・クラブ広報委員会の北島です。先日、4月24日に行われた地区研修協議会に参加いたしました。

分科会のことをお話しいたします。静岡ロータリークラブ、伊藤博さんの元、分科会が始まり次年度の方針などを話しました。その後、ガバナー補佐の元、単一ではなく複数クラブで奉仕活動をしていく話もありました。(1グループだと30万円、2グループだと60万円の補助、

更に増やす)

水面下で進んでいることですが、山梨のロータリークラブで富士、富士川におき、脱プラスチックを目標に富士川清掃活動をしていくという案が出ています。富士宮ロータリークラブでも、毎年5月に富士川清掃を行っているので組めないかという案が出ています。また駿河湾遠州においても、脱プラスチックにおいて他のクラブも参加できるのではないかという話でした。

6月30日までに来年度年間行事予定をガバナー補佐に提出とありました。至急、次年度会長、幹事、委員会の皆様と話を進めていきたいと思っております。

知らないことが多々ありますので、皆様、ご指導のほどよろしくお願いいたします。以上です。

次年度
ロータープログラム
委員長
平和則君



ロータリープログラム委員会・分科会に参加(出席)いたしましたので、報告いたします。

まず、次年度委員長の小澤邦比呂委員長(パワー浜松RC)から「委員は自ら活性し、お互いの繋がりを実感しながら子供たちに寄り添い、共に成長しよう」を活動方針とし、地区委員会の位置づけ、地区委員会リーダーの役割等について趣旨説明がなされました。

インターアクトプログラムについては、次年度の指導者講習会の日程が10月15日(土)(富士学苑高等学校 提唱クラブ:富士吉田RC)に決定したとのこと。開催方式はズーム。ロータリアンと顧問先生との連絡協議会は6月26日(日)富士交流センター、年次大会は8月6日(土)に御殿場高原「時の栖」で実施。新企画として、11月に「インターアクトの歌」CDを各クラブに配布する。インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブであり、現在、第2620地区の提唱クラブ数は18クラブ、対象校は19校となっている。

青少年交換プログラムについては、外務省の

危険情報がレベル3の渡航禁止であること、世界情勢が不安定、県下の高等学校の受入が厳しいことから2022-2023年度の交換学生の募集を中止にした。毎年3名程度派遣しているが、2年連続で中止となっている。次年度の活動は、6回の研修会の実施、受入内容の精査、ROTEX(青少年交換学友)の支援などを行う。

危機管理委員会からは、ロータリーにおける危機管理、国際ロータリーの「ゼロ容認方針」(セクハラや虐待の報告があった場合、その真偽や重大性、刑事上の事件性の有無にかかわらず、72時間以内にRIに報告するもの)の解説と処理手順、安全ガイドラインの作成計画などについて報告がなされました。

次年度
RLI ディスカッション
リーダー
村松 英昭君



委員長中尾 均(甲府北RC)のもと行われました。

RLI 概要説明がビデオを使って行なわれました。研修の特色は、参加型で参加者の自由な発言、討議を促し、積極的な発言を求めます。

このRLIはロータリーをより深く知っていただくための草の根運動です。最終的には人間力を大きくするための勉強会です、との説明がありました。

星野パストガバナーより、RLIを通して新しいロータリーをどのように築いていくかが、今後の課題となるでしょうとのご発言がありました。また、7月より、RLIのテキストが新しくなります、大勢の方がRLIをうけて、DLになっていただきたい、来年より卒後コースを作り2620地区なりのコースをやっていきたい、まずは、会員の皆様の積極的なRLIへの参加をお願いします。



ソングリーダー…… 遠藤 達哉君
ソング…… それでこそロータリー

《5月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
9	10	11	12	13
10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
16	17	18	19	20
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
23	24	25	26	27
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
30	31			
閉局	10:00～ 16:00			



《マツバ製茶さんより》

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。



事務局
〒426-0037
藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21
TEL054-647-2300 FAX054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

四つのテスト



(担当／遠藤 達哉君)